



10・11月号連続企画 「100人の建築家」 Part 2

# 豊かな空間をつくる 50人の建築家たち

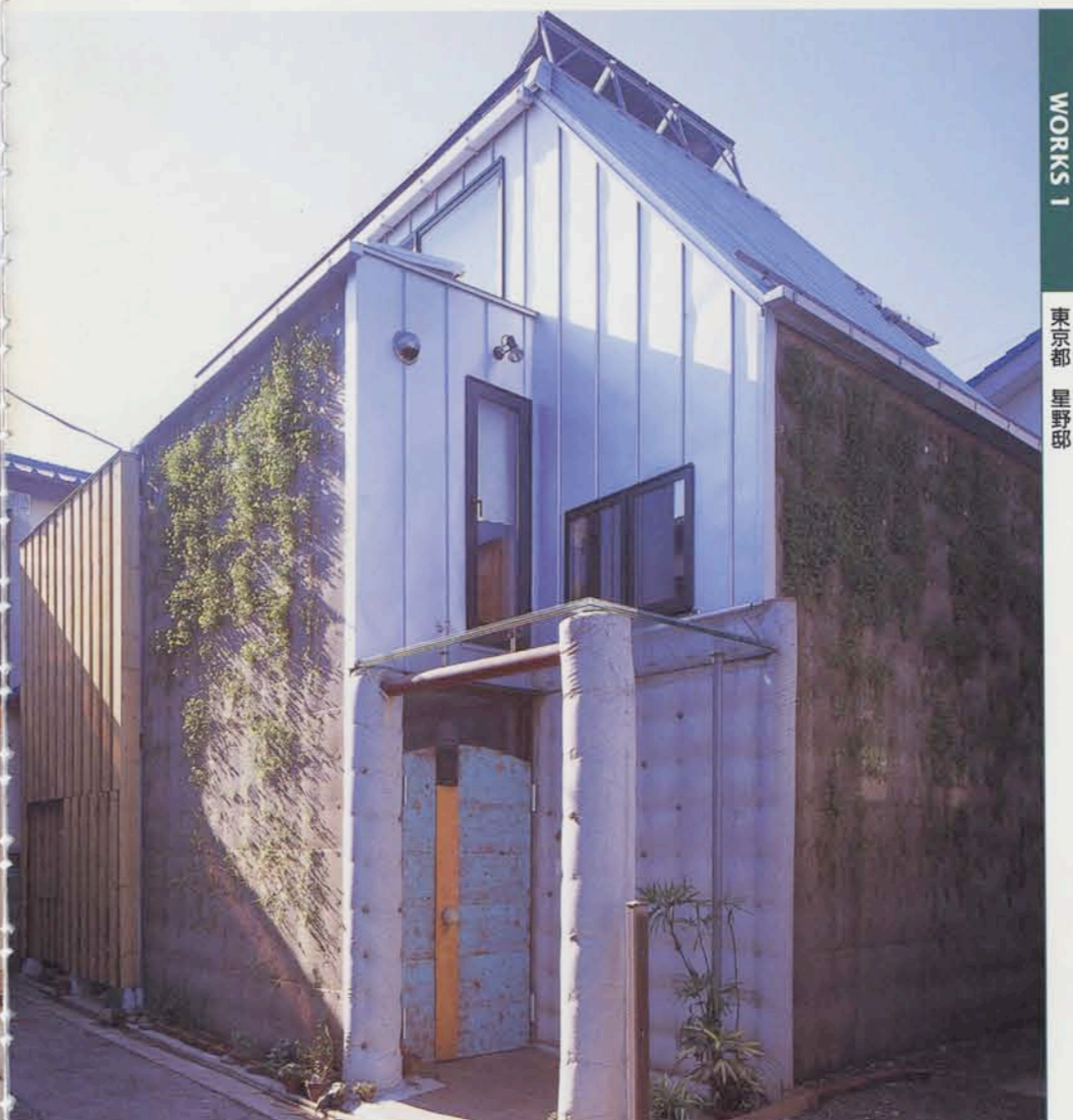
50 Architects Who Design Stylish Houses



## Modern Taste

モダン・テイスト編

「100人の建築家」第2弾はモダンテイスト編です。「豊かな空間」づくりを得意とする建築家50人が、各々の住宅実例とともに登場します。前回の「心地よい家」づくりを得意とするナチュラルテイスト編に登場した50人と同様、今回も住宅設計に情熱を傾けている建築家の方々ばかりです。住宅系建築家カタログとしてはもちろん、モダンスタイルの住宅実例集としてもお楽しみいただけます。建築家と家をつくるということは、とても刺激なことだと思います。自分たちの暮らし方、生き方を見つめ直す、希望をはっきりと伝える、そして後は、建築家の発想力を信頼する。大切なのは、じっくりと建築家選びに時間をかけてみることもかもしれません。本誌を存分にご活用ください。



上●道行く人の目を惹き止める緑の外壁は、断熱材の外側にステンレス網を張り、その間に吸水効果のある土壌改良材ポーラストーン（多孔質セラミックス）を入れたもの。建物の4面にあり、上部から自動給水するシステムも備えている。敷地のコーナー部分は、プライバシーを確保するために木製の塙で囲んでいる。左●2階の吹き抜けと階段部分。手摺りは直径19mmの鉄棒を曲げたもの。鉄は素材感を活かすためにあえて無塗装にした。下●青く変色した銅製のドア、波打つコンクリート壁、天井の和紙など、様々な素材が楽しい表情を見せる玄関。

「100年以上持つ家をつくるのが最もローコスト、省エネにつながる」

波打つような外壁と壁面に生えるクローバー、自然石の把手がついた青く変色した銅製玄関ドア……。星野邸のたまたまはいはともユニークです。設計した海野健三さんは施工までを手がける建築家。キッチンや収納家具なども自分の手でつくる「オリジナル」が基本で、この家の波打つ外壁や室内の壁も海野さん自身が開発したURC工法によるものです。



採光に有利な2階にLDKと畳コーナーを設けて暮らしの中心とし、隣家からの視線は敷地の外周に囲んだ壁によって遮ることに。上部から、あるいは敷地の四隅につくった吹き抜けの「空き」から日照を巧みにとり込んだ、明るく開放的な空間が実現しました。1階には浴室とアトリエ、客間、3階には主寝室と子供室があります。

高断熱、高蓄熱で結露のない耐久性に優れた建物にするため、この家には外断熱が採用されています。安全性の高いオール電化住宅にしたことから、屋根には太陽光発電パネルと集熱パネルを設置。補助的に電気を賄うようにしました。

「住むことを楽しめる家にしましょう」という海野さんの言葉を受けて、星野さんご夫婦も楽しいアイデアには即座に反応を返したとか。素材感を活かすために鉄にペンキを塗らず、錆びたままにすることを自ら提案するなど、自分たちの家づくりを存分に楽しんだそうです。





2階居間・食堂。トップライトや敷地四隅の「空き」から光をとり込んでいる。波打つ壁は海野さん考案のURC工法。従来のRC工法より容易でローコスト、手間のかかる外断熱のコンクリート壁も一気に完成できる（星野氏は斜線制限で建物形状が複雑になり鉄骨造を併用）。

### Data

- 家族構成 夫婦+子供1人
- 敷地面積 77.92㎡ (23.57坪)
- 1階面積 43.21㎡ (13.07坪)
- 2階面積 46.61㎡ (14.10坪)
- 3階面積 27.06㎡ (8.19坪)
- 延床面積 116.88㎡ (35.36坪)
- 構造 鉄骨造3階建
- 総工費 3070万円
- 撮影/松本 保 (WORKS 1.2.3)



### 棟梁のように現場に立ち、施工にも取り組む

「設計と施工を分離することは考えられない」と海野さん。初手でデザインするだけでなく、自身も棟梁のように現場に立って職人たちとともに手を動かし、家をつくり上げていく。施工をすることで数多くのことを学んできたという。とにかくつくることが好き。できることなら、何から何まで自分でやりたいのだそうだ。自宅もセルフビルドで完成させている。ハード面では外断熱、高蓄熱で熱環境の優れた結露のない耐久性の高い空間を、ソフト面では100年持つ家の間取りをつくりたいと考えている。最近は休みになると郊外に借りた土地で小屋づくりをしているとか。完成したら農作業に取り組み予定。建築同様、食べるものも自分の手でつくりたいのだそうだ。趣味は学生時代からやっているヨット。何があっても自分の責任、純粋な命を感じる「海の世界」が好きなのだという。



**WORKS 3** 神奈川県 丁部

16坪の狭小地に建つURC工法第1号の家。外壁は有孔板、開口部は透光材が覆う。



**WORKS 2** 東京都 M邸

変形敷地に建つアート感覚あふれる美しい家。隣接する公園に開放した室内の快適性も抜群。

**Profile**

海野健三 (うんの けんぞう)

●1949年東京都生まれ。'74年東京理科大学卒業。設計事務所、建設会社勤務を経て、'80年海建築家工房設立。設計のみも行うが、施工までをトータルに行うことができる。

海建築家工房  
東京都江東区扇橋2-24-2  
TEL. 03-3648-8468 FAX. 03-3648-8457